

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」清須校		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育で利用者様に合わせた支援を行っていること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの課題に合わせた支援プログラムを準備し、提供しています。</li> <li>指導員同士で支援内容について検討したり、お互いに相談し合ったりしております。</li> <li>支援の幅を広げるために、積極的に新しい教材を探したり、作成したりしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が自己研鑽をすることで支援レベルの向上を図る。</li> <li>支援プログラムの多様化のために、情報収集を行う。</li> </ul>
2	丁寧なフィードバック、保護者対応ができること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分に時間をとり、支援内容のフィードバックの他、利用者様についての情報共有、保護者様の困りごとの聞き取りを行っている。</li> <li>支援の見学をしていただき、利用者様の様子を見てもらったり、特性を踏まえた関わり方を見てもらったりしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より一層、相談援助に力を入れ、保護者様のご意向の把握に努めます。そこで得た情報を支援の方向性を考える判断材料にし、より利用者様の実情に合った支援内容へ反映させていきます。</li> <li>今年度なかなか行なうことが難しかった保護者会の開催をすること。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への情報提供と、情報の周知に改善の余地がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部イベントやセミナー等の情報は主に事業所内に張り紙をすることで周知を図っていたが、それだけでは効果的に保護者様へ届いていなかった。</li> <li>地域の社会資源や学校、就労事業所等についての知識が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部イベントやセミナーの情報を張り紙だけでなく、全体LINEの配信等の方法でも行うようにする。</li> <li>様々な機関とコンタクトをとり、見学等を通して知識を得、保護者様へ情報提供を行う。</li> </ul>
2	外部機関との連携。	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎をやっていないこともあり、外部機関との接点が少ない。</li> <li>日々の業務の忙しさで、外部機関との連携に目を向けるゆとりがなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者会議の開催を働きかける等することで、外部機関との接点をつくる。</li> <li>幼稚園や保育園への見学機会を増やす。</li> <li>就学への移行についてのノウハウを構築する。</li> <li>業務の効率化を図り、外部機関との連携のための時間的ゆとりをつくる。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 どもサポート教室「きらり」清須校

公表日 令和7年2月15日

利用児童数

45

回収数

43

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	4	0	0	狭さを感じる。もっと広ければ出来る活動も増えるのではないかと思う。(移転してほしいわけではない) 人数の多い時間帯は混みあっている。	限られたスペースの中でより効果的な療育が実施出来るよう、支援プログラムを工夫します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	42	1	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	8	1	3		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	40	2	1	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	42	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	42	0	0	1		
	7 こどものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	41	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	1	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	6	18	17	学校で交流があるので必要を感じない。	時間区分1（30分以上1時間30分以下）という限られた時間での療育を行っているため、現実的には難しいが、ニーズがあれば検討します。
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	43	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	9	0	9		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	42	1	0	0	利用後に振り返りがあるので共通理解しやすい。 都度フィードバックがあるため、状況を確認でき、安心しております。	支援のたびに保護者様へのフィードバックの時間を設けており、それも貴重な支援時間であると認識しております。今後も保護者様と共通理解を持てるよう、きめ細やかな対応をまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40	3	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43	0	0	0		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	8	2	14	一時期、保護者向けの研修会があったが、最近は少ない気がします。兄弟への支援は無い。	今年度は法改正への対応で、事業所全体の業務量が増え、保護者会の開催等にリソースを割くことができませんでした。今後は業務の効率化等に取り組み、保護者会やイベントの開催も図ってまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	2	0	4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	35	2	1	5		ホームページやInstagram等で定期的に更新し掲載しております。今後より清須校の活動を知っていただくための工夫をしてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41	0	0	2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	37	0	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	2	0	9		年に数回、避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	39	2	0	2		契約時に非常災害時の避難場所や対応を説明しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	3	0	8	事故が発生したことがないのでわからない。	支援中に何かがあった場合、速やかに保護者様に連絡をするようにしております。また事業所全体で共有し、その後の経過についても確認をさせていただいて
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	43	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	10	0	1	基本的に勉強が好きではないですが、ルーティーン化して嫌がらずに通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	43	0	0	0		利用者様にも保護者様にも満足いただけるようなサービス提供が出来るよう、事業所全体で努力してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」清須校				公表日	令和7年2月15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		5人の常勤指導員があり、配置数は適切だと思います。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、全職員で清掃をし、清潔を保っております。スペースには限りがありますので、出来る限り不要な物は置かないようにしております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		4つの個別支援スペースを用意しております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日頃から業務改善は意識しており、改善提案があった場合は職員全員で検討、合意を取ってから実施しております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からいただいた評価表を参考に、自事業所の課題を考え、改善につなげております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝の朝礼や、月例の会議で業務改善について話し合う時間を設けております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は行っていないが、毎年内部監査を実施している。	第三者評価は必要に応じて検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内の研修が主で、その他にも児童部会での研修や外部研修に参加しております。		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムはホームページにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内で統一されたフェイスシートとアセスメントシートを使用しております。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		令和6年7月に改訂されたガイドラインを踏まえ、所定の項目ごとに支援目標・支援内容を記載しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	基本は個別療育なので、各担当が個別に活動プログラムを立案しております。	チームで活動プログラムを考える機会が少ないが、イベントを開催する際にはチームでプログラムを立案します。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者様へのモニタリング、指導員へのモニタリング、児童発達支援管理責任者による支援見学をもって原案を作成し、会議を開き、本計画を作成しております。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録は漏れなく書くことができおり、支援内容やねらい、その時の様子等を具体的に記載している。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最長6カ月、児童によっては3~5カ月でモニタリングを実施している。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本的に児童発達支援管理責任者と支援担当の職員が参加しております。		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			当該機関と連携する機会がほとんどなく、課題を残している。中高生の利用者様が増えてきているので、将来の就労を見据え、障害福祉事業所等と連携をしていく予定。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			送迎を行っていないため、学校との接点がない。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			必要に応じて、きらりでの支援内容や要配慮事項を共有していきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			該当の児童がこれまでおりませんでした。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			児童発達支援センターが新しくできたため、今後連携を図ります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			ニーズがあれば検討します。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		尾張中部福祉圏域障害者支援協議会には積極的に参加しております。		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援のたびに保護者様と会話をする機会があるため、その時に行っております。		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に説明をしており、事業所内にも掲示しております。また、個別に質問があればお答えしております。		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			地域の父母の会には積極的に関与しております。保護者会は今年度なかなか開催ができませんでしたが、今後再開したいと考えております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			必要性があれば検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○					